12月度生涯研修抄録

抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドラインを知っていますか？抜歯時、抗血栓薬を止めてませんか？

―歯科外科処置で脳血管障害を起こさないための医療連携―

矢郷　香（国際医療福祉大学三田病院歯科口腔外科部長）

近年、本邦では超高齢化社会の到来に伴いワルファリンやアスピリンなどの抗血栓薬服用患者の歯科受診が増加している。抜歯時には、出血のリスクを避けるために、抗血栓薬の投与中断が習慣化されていた。しかし、中断すると血栓が形成され、重篤な脳梗塞や心筋梗塞などの合併症を起こす可能性がある。そのため、２０１０年10月、「科学的根拠に基づく抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン」が策定され、抗血栓薬継続下での抜歯が推奨された。本ガイドラインは日本人に適したガイドラインで、医師、弁護士の外部評価を受けている。

抗血栓薬継続下で抜歯や歯科インプラントの歯科外科処置を安全に行うためにはいくつかの注意事項がある。術前にＰＴ―ＩＮＲ、出血時間、血小板数などの検査値の確認、適切な局所止血処置、術後に処方する抗菌薬や鎮痛剤への配慮、術後の患者指導など、これらに関して症例を供覧しながら解説する。

ガイドラインが発表された限りは、抜歯後、抗血栓薬を中断したために脳梗塞などを起こした場合、医師・歯科医師の責任は重くなる。医事紛争の際、ガイドラインに基づいて医療行為が遂行されたかどうかが争点になる。『日本歯科医師会雑誌』でも紹介されているので、知らなかったではすまされない。

今回、是非とも先生方に本ガイドラインについて認知していただき、抗血栓療法施行中の患者に安全・安心な医療を提供するための一助となれば幸いである。

日時　12月16日（日）午前10時～午後1時
場所　M&Dホール
参加費　3千円、未入会者1万円

地域まつりで健診好評

北河内、北大阪地区は10月28日、無料歯科健診に取り組みそれぞれ180人、67人が受診した。

北河内地区

北河内地区は啓光学園内で開かれた枚方こどもまつりで健診に取り組んだ。悪天候のため屋内で行われたが、子どもからお年寄りまで180人が受診した。出務は有地正氏（枚方市）、佐々木宏氏（寝屋川市）と歯科衛生士3人。

健診する有地氏（手前）と佐々木氏（奥）＝10月28日、枚方市

健診する高尾氏＝10月28日、豊中市

北大阪地区

北大阪地区の健診は、ほくせつ医療生協の健康祭りで取り組まれたもので、高尾賢太郎氏（豊中市）と歯科衛生士1人が出務し、67人が受診した。雨天のため、まつり会場では第三次救急医療の充実を求める請願署名140筆を集めた。

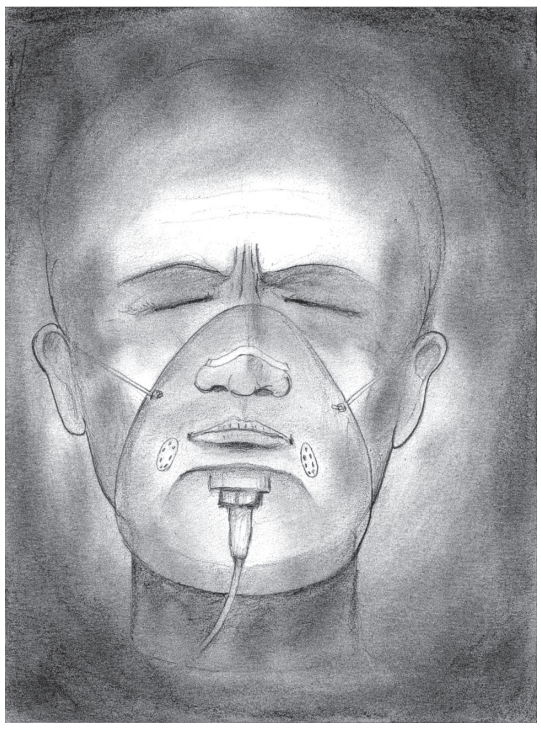
リレーエッセイ　あの日あの頃　280

父との最も長い一日

中澤　敦也（堺市）

「敦也、すまんな…」これが、親父と交わした最後の言葉である。この2日後に親父は68年の人生を終えた。

その日、父の容体が良くないと言う事で、急遽、休診にして早朝から父と病室にいた。数日より合併症からの間質性肺炎に伴う肺機能低下のため、酸素マスクを最大流量で装着していた。酸素を小刻みに、浅い呼吸で取り入れようと動いているそのリズムがいま、乱れたらどうしよう。マスク越しのためにこもってよく聞き取れないような声で、父と会話を交わすことに、内側からこみ上げてくる不安をどの瞬間も感じないではいられなかった。「痰をとってくれんか」という言葉に、ペーパータオルで拭うと、血でべったりとしていた。モニターに目をやるとSPO₂は70を下回っていた。口を拭う少しの間でも、マスクがないと、目に見えて値が下がるのであった。「親父、深呼吸して、ゆっくりと深くな」と落ち着きを装って言った。


絵　藤田　進（河内長野市）

そんな中、朝食が運ばれてきた。「元気にならんとあかんからな、しっかり食べや」。体力が衰え、自分で口に運ぶ事が出来ないので私が食べさせるのであった。食べ物の好き嫌いはなく、大飯食らいの親父が「もうええわ」と食べ残した膳を見ていられなく、直ぐに片づけてもらった。

静寂の中、父と私の間にある空気の少しの振動をも感じとろうと私は意識を父のほうに常に集中していた。酸素マスクと、呼吸の音だけが単調に耳に入ってきた。1時間に一度くらい「痰をとってくれんか」と言う以外は、病室に動きはなかった。

「明日、仕事やから、もう帰るわな」「敦也、すまんな」「おやすみ、また来るわな」

それから2日後、午後の診療が始まって直ぐ病院から連絡があり駆けつけたが、父の意識はすでになく、病床で下顎を大きく動かしていた。

その日の深夜に家族の見守る中、息を引き取ったのである。骨髄単球性白血病の病名を知ってから2年がたっていた。

私にとって父と一緒に過ごした最も長い一日の記憶で、今から3年前の事である。

―――

中澤先生ありがとうございました。次回は島田和彦先生（堺市）です。

協会行事案内

お申し込みは　電　話　06-6568-7731
ファクス　06-6568-0564

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

在宅療養支援歯科診療所の施設基準に係る研修会

日時　12月1日（土）午後7時～9時
講師　小正裕氏（大阪歯科大学高齢者歯科学講座教授）
内容　①高齢者の心身等の特性②口腔機能の管理③緊急時対応等
会場　M&Dホール
会費　千円　**定員**　100人（要事前申し込み）
共催　日本老年歯科医学会関西ブロック
※修了証を発行します（途中入退場者には発行できません）。参加は大阪府歯科保険医協会会員本人に限ります

大阪市西部地区

歯内療法成功の鍵Ｐａｒｔ４

日時　12月2日（日）午前10時～午後1時
会場　M&Dホール　**定員**　100人
講師　木ノ本喜史氏（大阪大学歯学部臨床教授・吹田市開業）
会費　会員無料、未入会者1万円

南河内地区

患者トラブルの最近の傾向とその対処法―今、院長がぜひ知っておくべきことは

日時　12月13日（木）午後6時～8時
会場　保険医会館　**定員**　50人
講師　尾内康彦氏（大阪府保険医協会事務局次長）
会費　会員・会員院所スタッフ無料、未入会者1万円

経税部　院長経営セミナー

自院の決算書を読む

日時　2013年1月19日（土）午後6時～8時
会場　保険医会館5階会議室
講師　宇治田竜一氏（経税部員、中央区開業）
会費　会員無料、未入会者1万円
定員　50人

1月度生涯研修

周術期患者の口腔ケア

日時　2013年1月20日(日)午前10時～午後1時
会場　M&Dホール　**定員**　100人
講師　大田洋二郎氏（静岡県立静岡がんセンター歯科口腔外科部長）
会費　会員3千円、未入会者1万円

2月度生涯研修

安全で効率的な感染根管処置

日時　2月24日（日）午前10時～午後1時
会場　M&Dホール　**定員**　100人
講師　木ノ本喜史氏（大阪大学歯学部臨床教授、吹田市開業）
会費　会員3千円、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。